

マンAHLスマート・ レバレッジ戦略ファンド (愛称：スマレバ)

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2023年10月12日)

(作成対象期間 2023年4月13日～2023年10月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2019年11月12日～2024年10月11日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド(円ヘッジ・クラス)」の投資証券(円建) ロ. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネープール・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配 金	期騰 落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
4期末(2021年10月12日)	10,861	0	2.4	—	99.7	79,762
5期末(2022年4月12日)	9,967	0	△ 8.2	—	98.9	60,821
6期末(2022年10月12日)	8,609	0	△ 13.6	—	99.2	46,236
7期末(2023年4月12日)	9,084	0	5.5	—	99.4	44,278
8期末(2023年10月12日)	8,581	0	△ 5.5	—	99.1	36,471

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

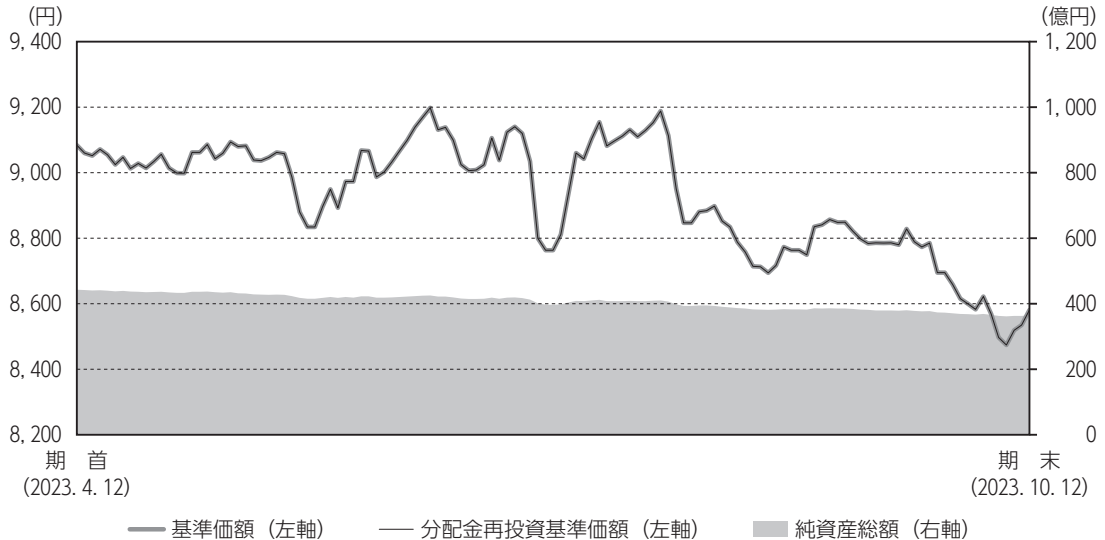
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,084円

期末：8,581円（分配金0円）

騰落率：△5.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、ファンドのエクスポージャーを機動的に調整した結果、株式はプラス寄与となったものの、債券のマイナスが上回り、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率 組 入 比	投 資 証 券 率 組 入 比
(期首)2023年 4月12日	円 9,084	%	—	%	99.4
4月末	9,014	△	0.8	—	99.4
5月末	8,897	△	2.1	—	99.1
6月末	9,106		0.2	—	99.4
7月末	9,129		0.5	—	99.3
8月末	8,835	△	2.7	—	99.1
9月末	8,599	△	5.3	—	98.9
(期末)2023年10月12日	8,581	△	5.5	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月以降は、インフレが沈静化傾向となり利上げ打ち止め期待などから上昇する局面もありましたが、原油価格が上昇に転じたことやFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しが引き上げられ高水準の政策金利が長期化するとの見方が強まったこと、予算審議の不調で政府機関の閉鎖観測が強まり米国国債の格下げが懸念されたことなどから長期金利が大幅に上昇し、株価は反落して当作成期末を迎えました。

■世界債券市況

主要先進国の金利は、おおむね上昇（債券価格は下落）しました。

主要先進国では、当作成期首より、強弱入り混じった経済指標の結果などから長期金利は方向感のない展開となりましたが、米国地方銀行の経営不安が再度意識されたことで、短中期金利は小幅に低下しました。2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月には、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。8月は、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。9月から当作成期末にかけては、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの、金融引き締め環境の長期化や底堅い米国経済見通しを示唆したことから、金利上昇が継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」および「ダイワ・マネープール・マザーファンド」に投資し、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持します。

※アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）：マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

■当ファンド

当ファンドは、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」および「ダイワ・マネープール・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めました。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行いました。

ファンドのエクスポージャーについては、株式と債券の同時下落の予兆に着目する自動ブレーキ機能（HEAVYモデル）は、2023年7月に発動し、当作成期末にかけてエクスポージャーを大きく削減しました。各市場の下落トレンドを検知する自動ブレーキ機能（モメンタムシグナル）は債券を中心に発動していたものの、当作成期の後半にかけてその機能を弱めました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年4月13日 ～2023年10月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	602

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」および「ダイワ・マネープール・マザーファンド」に投資し、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持します。

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 4. 13~2023. 10. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.401%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,926円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.127)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.260)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0.403	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

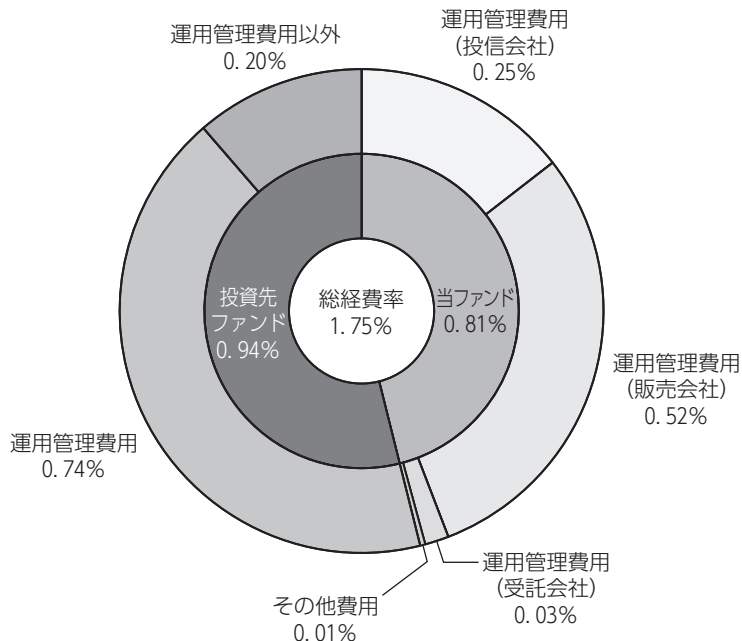
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.75%
①当ファンドの費用の比率	0.81%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資証券

(2023年4月13日から2023年10月12日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	千口	千円	千口	千円
(邦貨建)	()	()	()	()
	—	—	513,104,101	5,821,364
	()	()	()	()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資証券

(2023年4月13日から2023年10月12日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES (アイルランド)	513,104,101	5,821,364	11,345

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資証券 (アイルランド) MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES	3,316,72625	36,143,161	99.1

(注1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,050	1,050	1,034

(注) 単位未満は切捨て。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

■投資信託財産の構成

2023年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	36,143,161	98.4
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,034	0.0
コール・ローン等、その他	578,225	1.6
投資信託財産総額	36,722,421	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	36,722,421,846円
コール・ローン等	578,225,744
投資証券 (評価額)	36,143,161,960
ダイワ・マネープール・マザーファンド (評価額)	1,034,142
(B) 負債	250,504,656
未払解約金	85,527,503
未払信託報酬	163,899,924
その他未払費用	1,077,229
(C) 純資産総額 (A - B)	36,471,917,190
元本	42,505,428,624
次期繰越損益金	△ 6,033,511,434
(D) 受益権総口数	42,505,428,624口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,581円

* 期首における元本額は48,742,690,769円、当作成期間中における追加設定元本額は201,721,869円、同解約元本額は6,438,984,014円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,581円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,033,511,434円です。

■損益の状況

当期 自 2023年4月13日 至 2023年10月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 190,552円
受取利息	12,659
支払利息	△ 203,211
(B) 有価証券売買損益	△ 1,973,243,141
売買益	91,859,081
売買損	△ 2,065,102,222
(C) 信託報酬等	△ 164,977,153
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 2,138,410,846
(E) 前期繰越損益金	△ 5,142,322,130
(F) 追加信託差損益金	1,247,221,542
(配当等相当額)	(362,258,293)
(売買損益相当額)	(884,963,249)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 6,033,511,434
次期繰越損益金 (G)	△ 6,033,511,434
追加信託差損益金	1,247,221,542
(配当等相当額)	(362,258,293)
(売買損益相当額)	(884,963,249)
分派準備積立金	2,199,123,388
繰越損益金	△ 9,479,856,364

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	362,258,293
(d) 分派準備積立金	2,199,123,388
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,561,381,681
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,561,381,681
(h) 受益権総口数	42,505,428,624口

アクティブ・バランス・ファンド (円ヘッジ・クラス)

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）はアイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表
2022年12月31日

	(US\$)
資産	
現金および現金同等物	214, 449, 495
金融資産（損益通算後の評価額）：	
利付証券	307, 046, 971
デリバティブ	221, 936
未収利息	15, 124
その他資産	176, 346
資産合計	<u>521, 909, 872</u>
負債	
当座借越	283, 706
ブローカー預託借越	11, 952, 478
金融負債（損益通算後の評価額）：	
デリバティブ	23, 465, 390
未払運用報酬	304, 835
その他未払費用および負債	655, 557
負債合計（投資証券保有者に帰属する純資産を除く）	<u>36, 661, 966</u>
投資証券保有者に帰属する純資産	<u>485, 247, 906</u>

損益計算書

2022年12月31日に終了した年度

(US\$)

収益

損益通算後の金融資産・負債の増減額

(273,723,010)

(273,723,010)

費用

運用会社報酬

4,441,715

管理会社報酬

1,787,028

預託費用

102,056

弁護士費用

(8,010)

監査報酬

15,716

役員報酬

2,257

その他費用

175,995

費用合計

6,516,757

払戻費用

896,230

純費用

5,620,527

投資証券保有者に帰属する純損益

(279,343,537)

投資明細表
2022年12月31日現在

損益通算後の金融資産評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)		
	先物取引 (a)				
	香港				
97	HSCEI Index Futures January 2023	34,504	0.00		
38	Hang Seng Index Futures January 2023	43,345	0.01		
		77,849	0.01		
	シンガポール				
19	SGX Nifty 50 Index Futures January 2023	4,249	0.00		
413	FTSE China A50 Index Futures January 2023	43,832	0.01		
		48,081	0.01		
	米国				
5	United States 2 Years Treasury Note CBT Futures March 2023	938	0.00		
	先物取引合計	126,868	0.02		
	国債				
	フランス				
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 09/08/2023	52,558,327	10.83		
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 12/07/2023	52,748,297	10.87		
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 14/06/2023	52,877,702	10.90		
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 19/04/2023	53,069,807	10.94		
50,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 22/02/2023	53,255,241	10.97		
40,000,000	French Discount Treasury Bill 0% 22/03/2023	42,537,597	8.77		
		307,046,971	63.28		
	国債合計	307,046,971	63.28		
	外国為替先渡契約 ** (b)				
未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現利益 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
€ 2,930,000	US\$3,123,377	12 January 2023	1	6,542	0.00
US\$1,090	US\$1,160	31 January 2023	1	6	0.00
US\$4,126,894	£3,355,995	12 January 2023	2	88,520	0.02
	外国為替先渡契約に係る未実現利益合計			95,068	0.02
	損益通算後の金融資産評価額合計			307,268,907	63.32

マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド

損益通算後の金融負債評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	先物取引		
	オーストラリア		
296	Australian 10 Years Bond Futures March 2023	(1,219,005)	(0.25)
8	Australian 3 Years Bond Futures March 2023	(6,514)	(0.00)
95	SPI 200 Index Futures March 2023	(245,481)	(0.05)
		<hr/>	<hr/>
		(1,471,000)	(0.30)
	カナダ		
144	Canadian 10 Years Bond Futures March 2023	(316,654)	(0.07)
110	S&P/TSX 60 Index Futures March 2023	(646,808)	(0.13)
		<hr/>	<hr/>
		(963,462)	(0.20)
	フランス		
119	CAC 40 10 Euro Index Futures January 2023	(323,741)	(0.07)
	ドイツ		
26	DAX Index Future March 2023	(368,228)	(0.08)
8	EURO BOBL Futures March 2023	(36,286)	(0.01)
221	EURO BTP Futures March 2023	(1,984,218)	(0.41)
256	EURO BUND Futures March 2023	(2,277,537)	(0.47)
17	EURO BUXL 30 Years Bond Futures March 2023	(451,447)	(0.09)
159	EURO OAT Futures March 2023	(1,488,131)	(0.31)
358	EURO Stoxx 50 Index Futures March 2023	(562,319)	(0.11)
25	Stoxx Euro ESG Index Futures March 2023	(19,563)	(0.00)
150	Swiss Market Index Futures March 2023	(565,488)	(0.12)
		<hr/>	<hr/>
		(7,753,217)	(1.60)
	イタリア		
69	FTSE/MIB Index Futures March 2023	(315,922)	(0.07)
	日本		
43	Japan OSE 10 Years Bond March 2023	(857,315)	(0.18)
181	TOPIX Index Futures March 2023	(709,983)	(0.14)
		<hr/>	<hr/>
		(1,567,298)	(0.32)
	オランダ		
56	Amsterdam Index Futures January 2023	(422,309)	(0.09)
	シンガポール		
70	FTSE Taiwan Index Futures January 2023	(19,307)	(0.01)
132	MSCI Singapore Index Futures January 2023	(6,740)	(0.00)
160	Nikkei 225 (SGX) Index Futures March 2023	(1,021,764)	(0.21)
		<hr/>	<hr/>
		(1,047,811)	(0.22)
	南アフリカ共和国		
47	FTSE/JSE Top 40 Index Futures March 2023	(63,313)	(0.01)
	韓国		
136	Korea 10 Years Bond Futures March 2023	(363,598)	(0.08)
5	Korea 3 Years Bond Futures March 2023	(3,179)	(0.00)

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
128	KOSPI2 Index Futures March 2023	(362, 491)	(0.07)
		(729, 268)	(0.15)
	スウェーデン		
15	OMXS30 ESG Index Futures January 2023	(13, 683)	(0.00)
552	OMXS30 Index Futures January 2023	(399, 045)	(0.08)
		(412, 728)	(0.08)
	英国		
248	FTSE 100 Index Futures March 2023	(10, 202)	(0.00)
163	Long Gilt Futures March 2023	(1, 269, 192)	(0.26)
		(1, 279, 394)	(0.26)
	米国		
4	E-mini S&P 500 ESG Index Futures March 2023	(17, 355)	(0.00)
59	Nasdaq 100 E-mini Index Futures March 2023	(773, 242)	(0.16)
146	S&P500 E-mini Index Futures March 2023	(831, 537)	(0.17)
814	United States 10 Years Treasury Note CBT Futures March 2023	(600, 563)	(0.13)
16	United States 5 Years Treasury Note CBT Futures March 2023	(2, 156)	(0.00)
222	United States Long Bond CBT Futures March 2023	(395, 977)	(0.08)
264	United States Ultra Bond CBT Futures March 2023	(780, 573)	(0.16)
		(3, 401, 403)	(0.70)
	先物取引合計	(19, 750, 866)	(4.07)

マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド

外国為替先渡契約 **

未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現損失 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
£1, 131	US\$1, 371	31 January 2023	1	(9)	(0.00)
JPY59, 021, 868, 614	US\$449, 509, 939	31 January 2023	1	(250, 824)	(0.05)
US\$312, 593, 883	€295, 869, 840	12 January 2023	1	(3, 463, 691)	(0.71)
外国為替先渡契約に関わる未実現損失合計				(3, 714, 524)	(0.76)
損益通算後の金融負債評価額合計				(23, 465, 390)	(4.83)
損益通算後の金融資産評価額合計				307, 268, 907	63.32
損益通算後の金融負債評価額合計				(23, 465, 390)	(4.83)
その他の純資産				201, 444, 389	41.51
受益証券保有者に帰属する純資産				485, 247, 906	100.00

** 外国為替先渡契約はバンク・オブ・ニューヨーク・メロンを相手方としています。

(a) 証券所取引デリバティブ商品

(b) OTC 金融デリバティブ商品

公の株式取引所に上場されているまたは他の規制市場で取引される以外の譲渡可能証券

年末時点で保有するすべての他の投資は公の株式取引所に上場されている譲渡可能証券

<補足情報>

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年10月12日）現在におけるダイワ・マネープール・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年4月13日～2023年10月12日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年10月12日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネープール・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

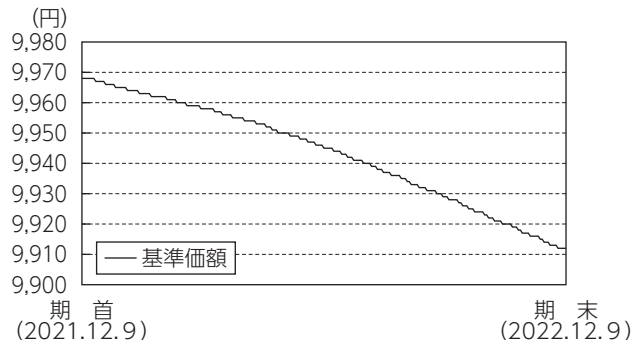
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2021年12月9日	9,968	%	%
12月末	9,966	△0.0	-
2022年1月1日	9,963	△0.1	-
2月末	9,960	△0.1	-
3月末	9,956	△0.1	-
4月末	9,952	△0.2	-
5月末	9,948	△0.2	-
6月末	9,942	△0.3	-
7月末	9,937	△0.3	-
8月末	9,931	△0.4	-
9月末	9,925	△0.4	-
10月末	9,919	△0.5	-
11月末	9,913	△0.6	-
(期末)2022年12月9日	9,912	△0.6	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,968円 期末：9,912円 騰落率：△0.6%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移し

ました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 1,041	% 100.0
投資信託財産総額	1,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,041,132円
コール・ローン等	1,041,132
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	1,041,132
元本	1,050,424
次期繰越損益金	△ 9,292
(D) 受益権総口数	1,050,424口
1万口当り基準価額(C/D)	9,912円

* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は50,424円、同解約元本額は0円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
マンAHLスマート・レパレッジ戦略ファンド 1,050,424円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,912円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,292円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△5,695円
受取利息	2
支払利息	△5,697
(B) 当期損益金(A)	△5,695
(C) 前期繰越損益金	△3,173
(D) 追加信託差損益金	△ 424
(E) 合計(B + C + D)	△9,292
次期繰越損益金(E)	△9,292

(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。